

# 施設の概要

- 敷地の広さ：5,729.56平方メートル
- 収集エリア：養老町・海津市
- 処理できる能力：1日に65キロリットル
  - し尿……………1日に8キロリットル
  - 浄化槽汚泥……………1日に57キロリットル
- 水処理方式：前脱水+循環式脱窒素処理+活性炭吸着+紫外線滅菌
- 資源化方式：汚泥助燃剤化方式
- 放流先：牧田川
- 建設にかかった期間：令和2年(2020年)4月1日～令和6年(2024年)3月22日



# 衛生センター (汚泥再生処理センター)



大切な川を汚さないために  
毎日しっかり監視しているんじや



**中央監視室**  
処理の流れや機械の運転状況を監視します。



川がキレイだと川に住む  
生き物たちも元気になるんだよ



**水質試験室**  
水質を分析して処理状況を確認します。

メモ

---



---



---



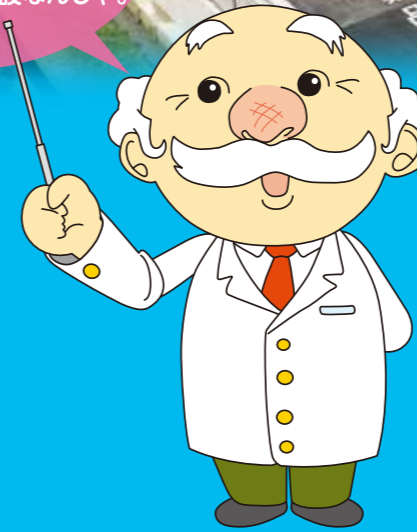
---



---

みなさんこんにちは。  
この施設はみんなの家や学校から  
出るし尿と浄化槽汚泥を  
きれいな水にする施設なんじや。

この施設はみんなの川や  
自然を守るためにあるんだよ。  
中ではどんなことが行われているのか、  
見に行ってみましょう!



# 衛生センター (汚泥再生処理センター)

〒503-1314 岐阜県養老郡養老町高田1859番地  
Tel. 0584-32-0970 / Fax. 0584-34-2789

南濃衛生施設利用事務組合

# 衛生センター(汚泥再生処理センター)の役割

衛生センター(汚泥再生処理センター)に運ばれてきたし尿・浄化槽汚泥は、汚れを取り除いてきれいな水にしてから川に流します。処理の途中で出る汚泥はしぼって助燃剤(燃えやすくなったもの)にして、ごみ焼却施設(養老ドリームパーク)で有効利用します。

汲取りトイレにたまったうんちやおしっこのことをし尿、水洗トイレや台所、お風呂からの排水を処理する浄化槽にたまった汚れを浄化槽汚泥といいます。

汚れのもととなる固まりは、水分をしぼってごみと一緒に燃やす助燃剤となり、有効利用されます。

衛生センターではし尿・浄化槽汚泥を1日65kL(一般的なお風呂の217杯くらいです)きれいな水に生まれ変わらせます。

